

# データを活用した経営改善 高次元の経営をめざす！！

- 経営改善より生まれた「ゆとり」を地域貢献に活かす -

平成元年  
結婚を機会にUターンして経営に参画。  
酪農の効率化を目指す。  
労働力を効率的に使うことにより

**ゆとり** を求め  
自給飼料30haを作り  
60頭の搾乳をしながら  
地域の活性化や食育に取り組む



# 地域の概要



## ■ 農業産出額

単位:百万円

地域	米	肉用牛	酪農	豚	鶏	合計
岐阜県	23,935	10,276	6,025	6,160	17,382	118,446
羽島市	929	132	541		303	2,884



羽島市の畜産の現状については、酪農家20戸、肉用牛4戸、養鶏10戸であるが、酪農の歴史は古く、明治中期に名古屋の乳業会社から委託を受けて、子牛から種付けまでの育成部門だけの経営が始まり、その頃から河川敷の野草を主体に給与されていた。昭和初期には共同搾乳と処理販売が行われるようになり、昭和16年頃には長良川流域の各市町村に酪農組合が設立されて、酪農が急速に普及されていくこととなり、岐阜県の酪農の発祥の地とも言われている。

この時点で堤防、河川敷の草資源は乳牛の大切な粗飼料源として位置づけられ、酪農経営に一役買っていた。

# 経営の推移

年次	作目構成	飼頭	育数	飼料面積	作積	経営・活動内容
戦前	酪農・米・耕種		3頭	河川敷利用		未經産牛を購入し、祖父が酪農を始める。その間、父は引越し業、運搬業をしながら、耕種をやる兼業農家であった。
S60年	酪農専業		35頭	9.7ha		本人は高校卒業後、名古屋の商社に勤める。父は農外に就職しており、祖父、母親が酪農を経営。
H元年	〃		35頭	9.7ha		本人は結婚と同時に商社を辞めてUターンし後継者となる。父親は家畜商のをしていたため、酪農を祖父から教えてもらう。
H5年	〃		35頭	9.7ha		高泌乳牛への多回給与のため自走式給餌機を設置
H7年	〃		40頭	9.7ha		たい肥の処理が限界となり、横型強制発酵装置(ロータリーキルン)を導入。
H15年	〃	経産牛55頭 育成牛20頭		13.0ha		フリーバーン方式の牛舎を新築し、規模拡大を図る。増頭は全頭自家産牛で行った。
H18年	〃	経産牛68頭 育成牛50頭		27.0ha		河川敷の占用許可を申請し、14haを草地造成をした。カウメールを導入した。連続6年間、畜産協会の経営診断を受診
H19年	〃	経産牛59頭 育成牛40頭		27.0ha		近隣酪農家と共同で市内の水田70haのワラ収集を始める。
H21年	〃	経産牛63頭 育成牛37頭		河川敷草地 27.0ha 飼料用イネ 3.0ha		羽島市稲藁生産組合を設立。飼料用米の生産と利用を開始。

平成13年度から、18年度まで岐阜県畜産協会の実施する経営診断を受診

# 大井牧場がやってきたこと

- 1 低能力牛群の改良
- 2 科学的データに基づく経営
- 3 繁殖成績の向上
- 4 フリーバーン牛舎の採用
- 5 ローターキルンと堆肥舎
- 6 河川敷を利用した自給飼料生産
- 7 稲ワラ収集と耕畜連携
- 8 コーディネーターとしての役割
- 9 酪農教育ファーム・食育の醸成
- 10 「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーン ～ 消費対策 ～
- 11 経営の成果

酪農経営者  
なられて  
どんなことを  
されましたか？



「売上高倍増計画」を打ち立て、そのために何をすべきかの設計図を作り「売上高が倍増すれば、当然所得も倍増するだろう」

第1に乳牛の能力を上げるにはどうすればよいか。  
第2に費用を抑えるために何をすべきか。  
第3に売上高を上げるにはどうしたか良いか。  
を考えました。

# 1 低能力牛群の改良

- レール式の自走式自動給餌機を導入。(平成5年)
- 人工授精証明書を基に育成牛、母牛も含め無登録牛68頭を全頭登録牛とした。(平成12年)
- 県域第1乳用牛群検定組合に加入し、検定を始める。(平成14年)

経産一頭あたり産乳量が  
やや増加

自走式自動給餌機

血統登録書

近交を避けるための人工授精  
の判断材料となっている

登録、能力両方のデータを駆使し、平成21年度の経産牛の能力は  
8870kgと大きく伸びている

牛群検定

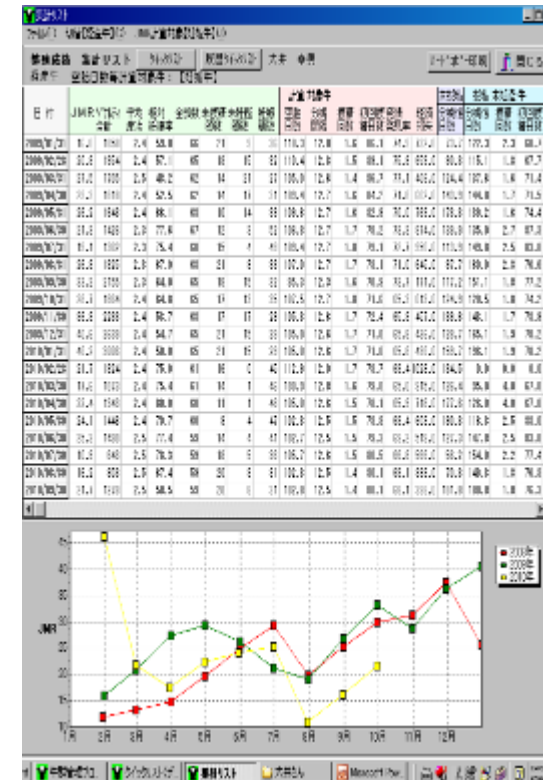
# 2 科学的データに基づく経営

必ず、人工授精の前には、ホル協のHPで近交を確認



ホル協の近交回避HP

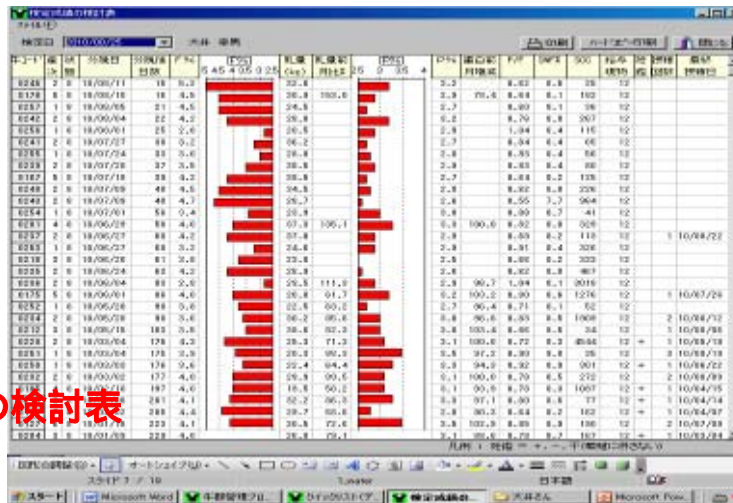
繁殖成績集計リスト



毎月のJMR、種付け回数、初回種付け月日等を確認し、進行管理に役立てている

大家畜DB 牛群管理プログラム

検定成績の検討表



毎月の検定結果から分娩後の乳脂肪を確認し、ケトosis、脂肪肝、ダウンー症候群の予防に努めている

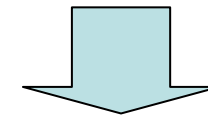
### 3 繁殖成績の向上

#### ■ 歩数による発情を予測する「カウメール」を導入



発情の発見を迅速、かつ確実に出来るようになった。

平成21年には平均種付け回数**1.7回**、平均分娩間隔**12.0ヶ月**、3回以上種付け割合**12.6%ま**で改善。



大いに繁殖成績の向上に有効に働いた。

## 3 - 1 繁殖成績の推移

項目	H13年	H15年	H16年	H18年	H19年	H21年
経産牛頭数	46.8	56.2	62.6	63.8	58.8	63.7
搾乳牛頭数	42.5	47.9	54.7	54.6	52.4	56.2
平均種付け回数	2.0	3.2	2.4	2.2	2.3	1.7
3回以上種付け割合	23.5	50.0	30.4	30.9	44.2	12.6
平均産次数	2.5	2.3	2.5	2.5	2.5	2.5
平均分娩間隔	14.7	15.2	13.0	12.9	12.8	12.0



## 4 フリーバーン牛舎の採用

### ■ コスト低減のため、フリーバーン方式とした

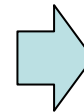
TMR方式に変更した。乳牛に最大限の飼料の給与を目標とした。労働力も効率的となった。



牛舎の東側が堤防道路であり、大型トラックや乗用車が往来するため、牛舎にはクラシック音楽を常に流し、外からの騒音の影響を少しでも受けられないような工夫をしている。



牛の増頭・減頭が簡単に出き、柔軟に対応できることから、最終的に決定した。搾乳方法もパラレル式パーラーを採用した。



## 5 たい肥の処理

堆肥舎 右側にロータリーキルン 左側に堆肥舎 モミガラ置き場



## 6 河川敷を利用した自給飼料生産

### ■ 木曽川、長良川、揖斐川と河川敷が点在し、立地条件を有効に利用

河川敷の利用は戦前から行われていた。  
大井牧場もこの立地条件を有効に利用し自給飼料生産を行ってきた。



牛舎前の河川敷14haの占有許可を申請し、自力で柳、灌木の除去と抜根を行い、草地を造成し自給飼料の生産拡大に努めた。

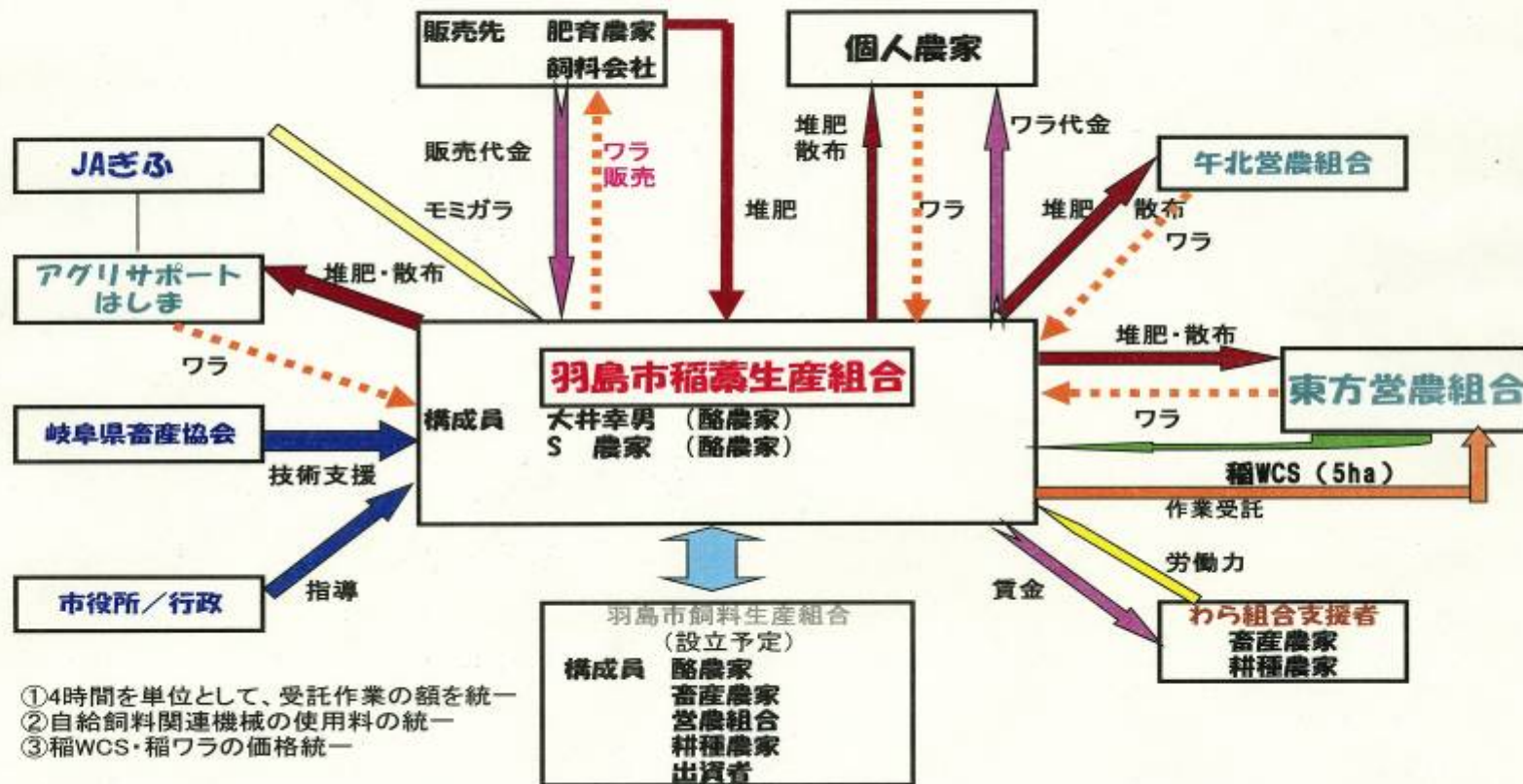


平成3年にはラップマシーンを導入し、労働力の効率化と生産した草のロスを極力少なくした

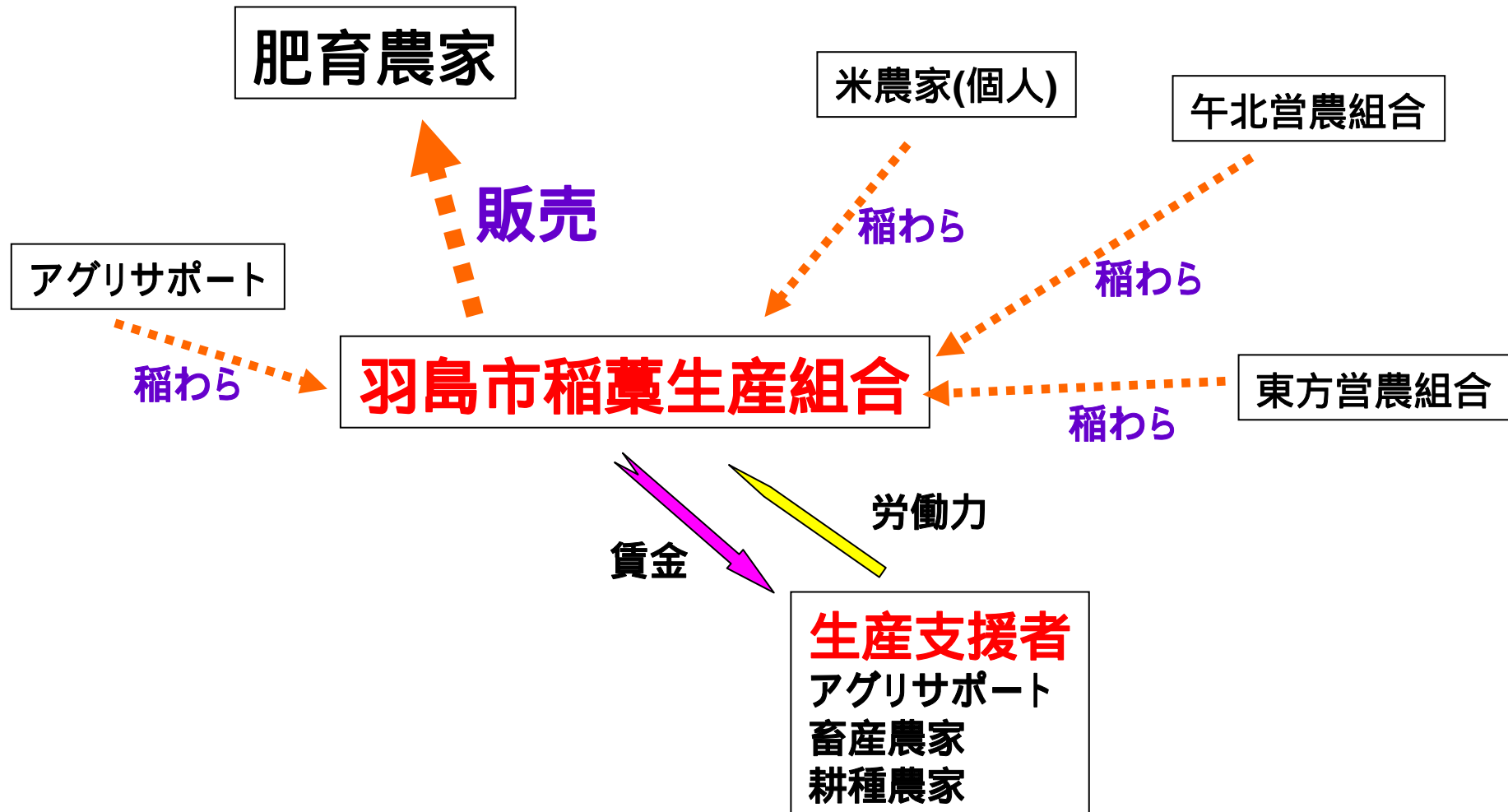


# 8 コーディネーターとしての役割

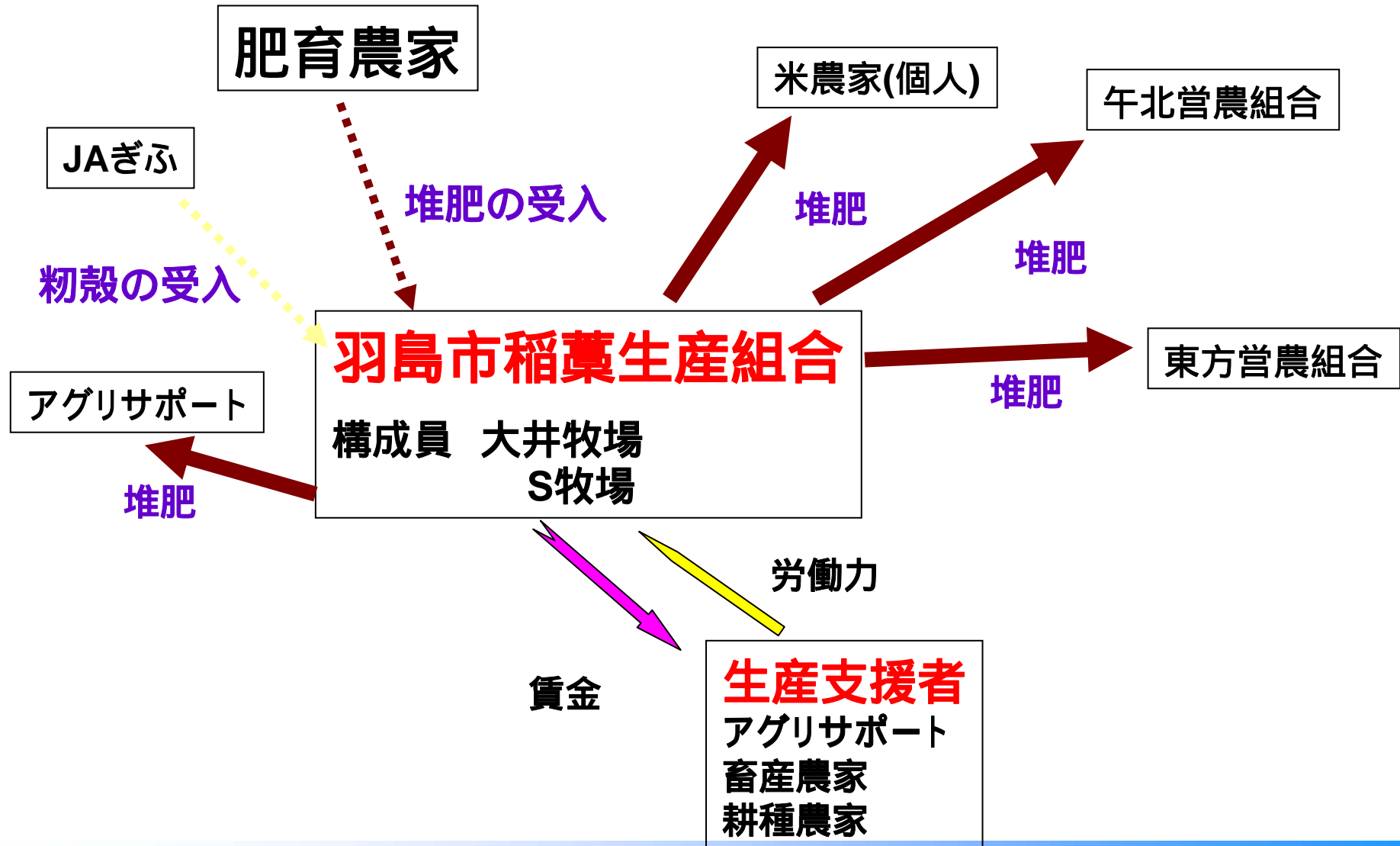
酪農家・畜産農家・営農組合・耕種農家・農協との有機的なつながり



# 稲わらの販売



# 堆肥の散布



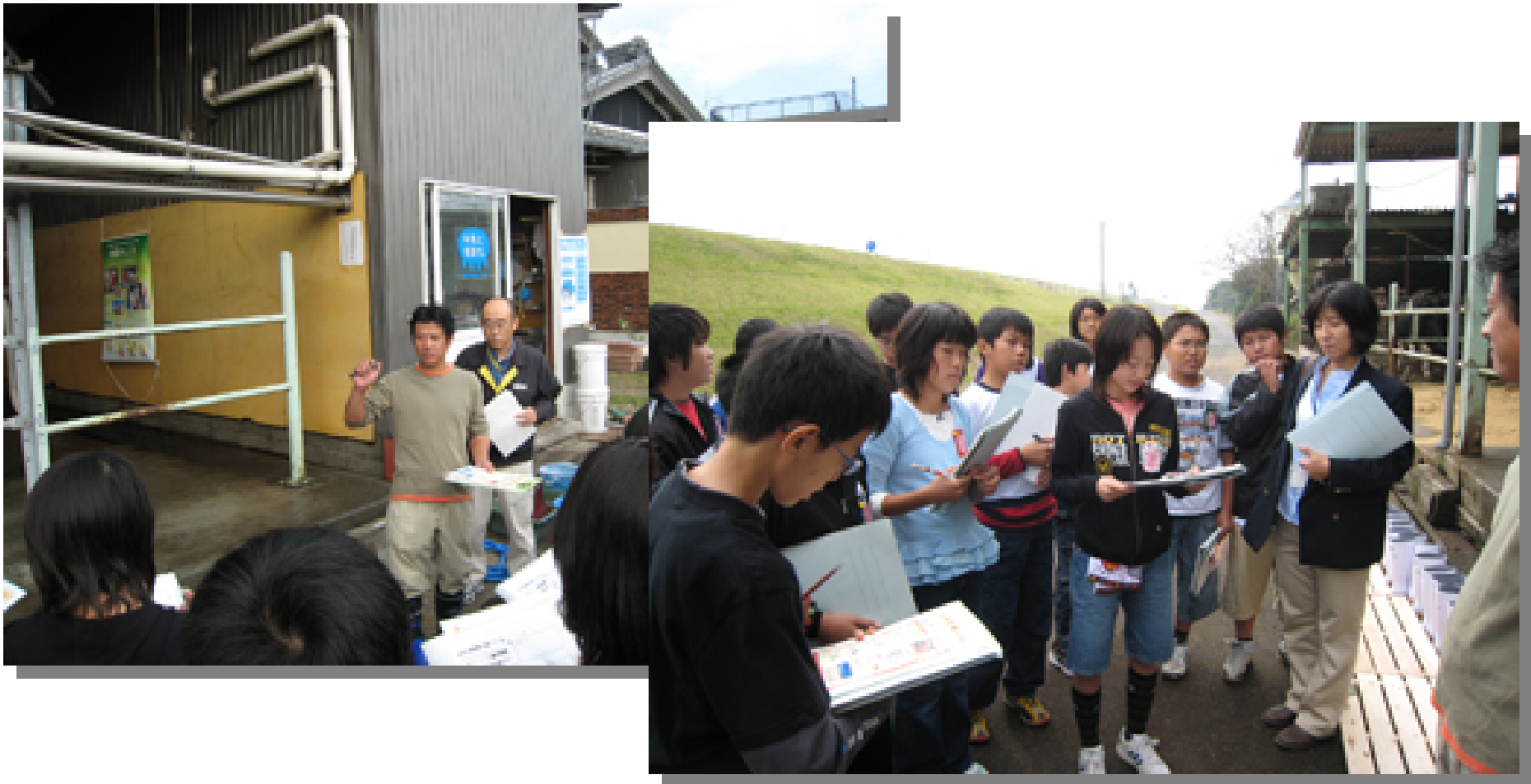
## 7 稲ワラ収集と耕畜連携

### ■ 70haの稲ワラを2人で収集し販売、イネWCSの給与



## 9 酪農教育ファーム・食育の醸成と消費対策

### ■ 毎年、近くの小学校が体験学習に来ます





## 9 酪農教育ファーム・食育の醸成と消費対策

### ■ ワクワクモーモースクールを開催しました



## 10 「父の日に牛乳を贈ろう」キャンペーン

牛乳を知事へ贈呈！



## 11 経営の成果

項目	H16年	H17年	H18年	H19年	H21年
経産牛1頭当り購入 飼料費	304,986	308,441	306,015	409,495	417,580
経産牛1頭当り自給 飼料面積	45.5	42.8	42.3	45.9	47.1
10a当り収量	1,300	3,000	1,483	2,620	2,016
飼料自給率 DM	38.3	40.5	27.5	34.8	34.3
1頭当り当期費用合計	661,734	679,114	729,922	929,430	962,709
牛乳100Kg当り生産費	6,527	7,368	7,431	8,695	8,797
乳飼比	40.3	43.9	44.2	48.2	42.6
経産牛1頭当り所得	263,699	189,450	176,885	56,264	215,217
所得率	32.8	25.9	24.2	6.2	20.5
平均乳価	98.03	98.70	93.67	92.23	103.08

平成16年、17年は乳牛の泌乳量が6,000kg台と苦戦を強いられたが、それでも所得1000万円を確保した。

## 今後の方向と課題

- 売上高1億円を目指す
- 三女が後継者に？
- 哺乳ロボットを含めた育成牛舎の建設
- 自家牛乳を使った乳製品の生産と販売  
(地元農協との共同生産、共同販売)
- 地域農業の発展と活性化のため、地域の皆さんとの密接な関係

**酪農は一人ではできない。  
地域との連携、協力は絶対必要**

ご静聴ありがとうございました。

モーと頑張るぞー！！

